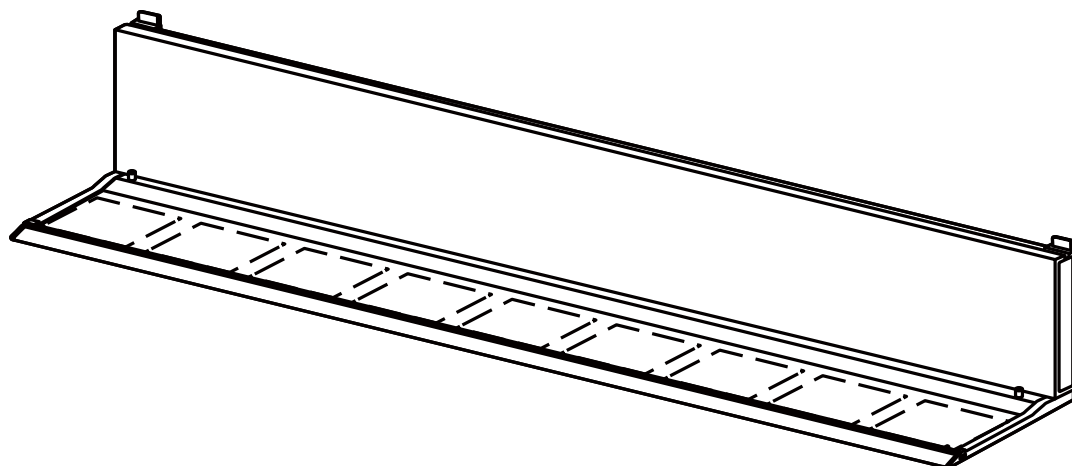


カネカ有機EL照明

KANEKA LUCE ARCHITECTURE™ A1シリーズ



施工要領書

もくじ

安全上のご注意	P.2
施工時に必要なもの	P.4
各部の名称	P.5
施工方法	P.7
製品仕様	P.26

屋内専用

国内専用

施工工事店様へ



- 施工の前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この施工要領書は、施工のポイント、代理店から本書と一緒に渡される取扱説明書と共に、必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この施工要領書は、施工のポイント、取扱説明書と共にお手元に保管してください。
- この施工要領書は、参考としてお渡しするものです。本書に記載されている作業などが必要となった場合、お求めの代理店にご相談、ご依頼ください。お客様ご自身では行わないでください。

安全上のご注意

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

次のマークは守っていただきたい内容を説明しています。

 禁止（してはいけないこと）を示します。	 実行していただくことを示します。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

警告

■ 設置場所について



以下のような場所には設置しないでください。

- ・製品の重量（P.26）に十分耐える強度がない場所（取り付け面に強度がない場合は、補強をしてください）
- ・段差がある場所など正しく製品を取り付けることができない場所
- ・取り付けた製品が振動したり揺れたりする場所
 - 簡易的な壁など振動する場所
 - ドアや窓などの可動物もしくは可動するもの、あるいは動くものが近く振動が伝わりやすい場所
 - 窓の近くやエアコンの吹き出し口の近くなど風が製品に当たる場所
- ・周囲温度が高くなる場所
 - エアコンの吹き出し口やヒーターが近くにある場所
 - 熱器具が近くにある場所
- ・浴室、屋外など結露する場所、湿気が多い場所、水がかかる場所や加湿器が近くにある場所
- ・直射日光など紫外線が当たる場所
- ・腐食性ガス、可燃性ガスが発生する場所
- ・子供の手が届く場所
- ・人がぶつかる可能性のある場所

落下や破損・故障による火災、感電、やけど、けがの原因になります。

■ 設置するときは



本製品の取り付け、配線は本書の施工方法に従って確実に行ってください。

取り付けに不備があると火災、感電、故障、やけど、けがの原因になります。



発煙や異臭、異音、異常な発熱など、異常を感じた場合は、すぐに主電源を切り、お求めの代理店へご連絡ください。

そのまま設置すると、火災、感電の原因になります。



本製品の取り付けは2人以上で行ってください。

変形、落下による破損、けがの原因になります。



電源の配線は電気工事士の有資格者が必ず実施してください。

取り付けに不備があると火災、感電、故障のおそれがあります。



必ずAC100V電源を使用してください。

火災、感電、やけど、けが、故障の原因になります。



アース線は電気設備の技術基準に従い、D種（第3種）接地工事を行ってください。

火災、感電、やけど、けが、故障の原因になります。



電源の極性（L、N、アース）、入力、送りの接続を確認し、間違えないように接続してください。

火災、感電、やけど、けが、故障の原因になります。





電源の送り配線は本製品専用とし、電流容量を確認して接続してください。

電流容量を超えると、火災、感電、やけど、けが、故障の原因になります。


安全上のご注意 (つづき)

■ 設置するときは


 **破損した本体、付属品は使用しないでください。**
火災、感電、落下の原因になります。破損した場合は、お求めの代理店までご連絡ください。

 **本体ユニットの固定ネジは施工方法に従い、適切な位置に必ず4箇所以上取り付けてください。(P.13)**


取り付け忘れや誤った位置に取り付けると固定強度が足りず、製品が落下し、破損、火災、やけど、けがの原因になります。

 **分解・改造をしないでください。また、器具の隙間に物を挟んだりこじ開けたりしないでください。**

火災、感電、故障などの原因になります。


 **落下防止ひもは2本とも確実に取り付けてください。(P.20)**

本体カバーユニットの落下により、破損、けがの原因になります。


 **通電した状態で、取り付け、取り外しをしないでください。**

感電、故障の原因になります。


注意

 **取り付け、取り外しは手指の防護ができる手袋を使用してください。**


突起部や端部などでけがをするおそれがあります。

 **本製品に物を載せたり、体重をかけるなど負荷をかけるようなことはしないでください。**

落下や破損により、けがの原因になります。

 **本製品に物をぶつかけたり、落下させたり、強く押ししたりしないでください。**

有機EL照明パネルのガラス部分が破損し、けがの原因になります。

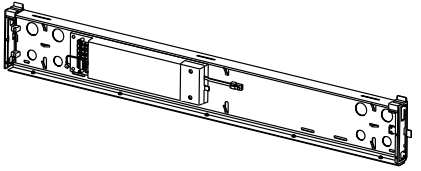
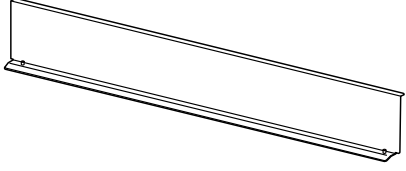
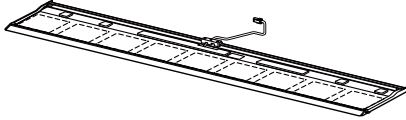


 **点灯中や消灯直後は、本製品に触らないでください。**

温度が高くなっているため、やけどをする原因になります。

施工時に必要なもの

付属品

施工前に本体と付属品がそろっていることを、次の表でご確認ください。
不足や破損などがあった場合は、お求めの代理店までご連絡ください。

	本体ユニット	本体カバーユニット	有機ELユニット
略図 (9灯品の場合)			
数量	1	1	1
	有機ELユニット固定ネジ		目隠し板
略図	 9灯品では5本、7灯品では4本、5灯品では3本を使用します。 残りは予備として保管してください。		
数量	6		2
	施工のポイント※1		施工要領書（本書）と取扱説明書は製品梱包に含まれていません。 必ず代理店からお取り寄せください。
数量	1		

※1 施工のポイントは、施工要領書（本書）から施工の流れに沿って留意すべきポイントを抜粋した資料です。施工の前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

ご用意いただく物

施工には上記付属品のほか、次の部材・部品をご用意ください。

	本体固定用ネジ	電源ケーブル（電源の送り線）	電源スイッチ※2
仕様	ネジ径：Φ3.5～4.0mm ネジ種／ネジ長： 取り付ける面の材質・厚みに対して、本製品重量（約4kg:9灯品の場合。電線重量含まず）の取り付けに十分耐えられる適切なものを選定ください。 （最小ネジ長：15mm）	Φ1.6mmもしくはΦ2.0mm 3芯 VVFケーブル	本製品を単独もしくは連結接続した状態で、適切に電源の断続を行える仕様のスイッチを選定ください。
数量	4以上	1／必要長	必要数
	調光器※3		調光ケーブル※3（調光の送り線）
仕様	PWM方式 JISC 8120付属書E.3パルス幅変調（PWM）による制御に準拠したもの ●弊社動作確認済み調光器（推奨品）： Panasonic NQ20355/NQ20356 Panasonic NQ21505/NQ21502 Panasonic NQ28841K/NQ28861K		Φ0.9mmもしくはΦ1.2mm 1P CPEV線遮蔽付き
数量	必要数		1／必要長

※2 電源を断続しない場合は不要です。

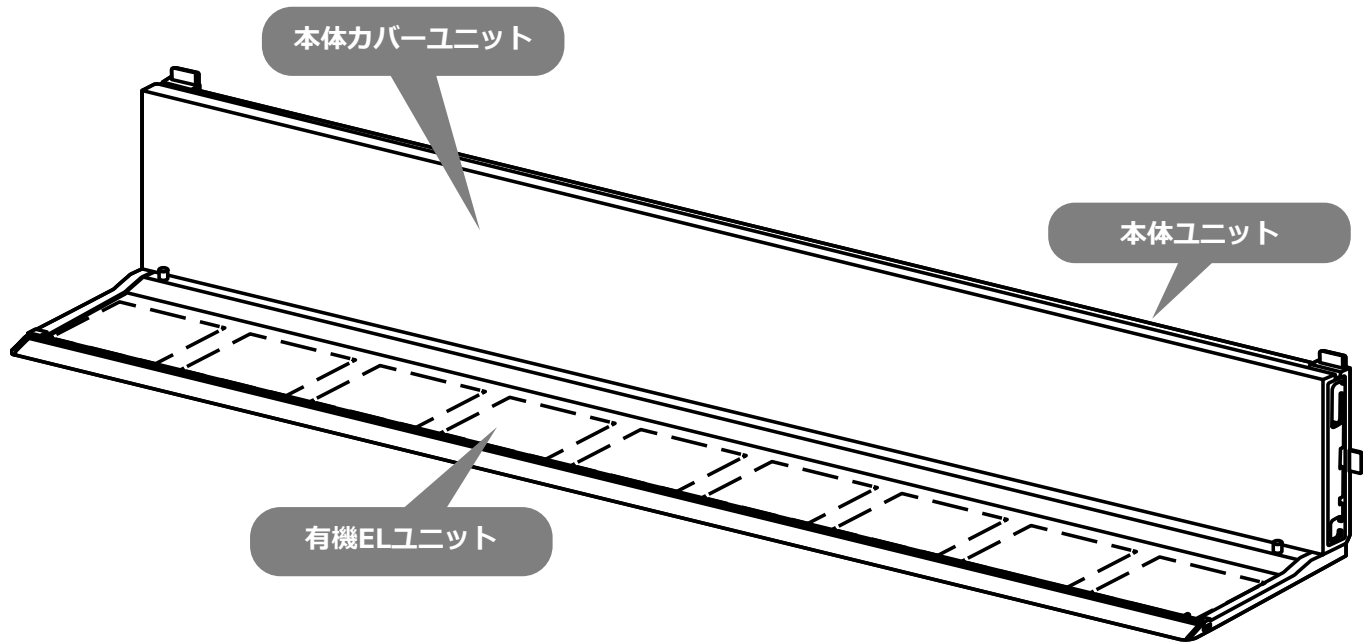
※3 調光を行わない場合は不要です。

本製品に、壁紙の貼り付けや塗装をする場合は、必要な材料をご用意ください。
壁紙・塗装に関しては、P.22をご参照ください。

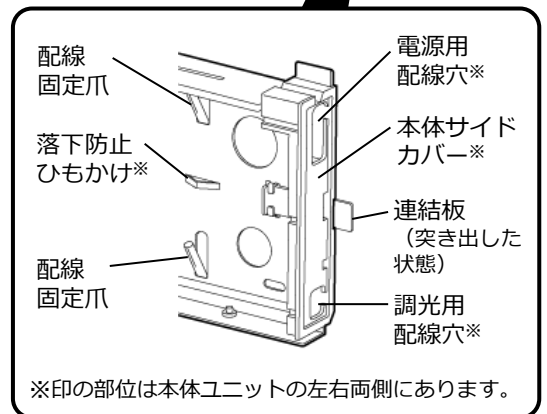
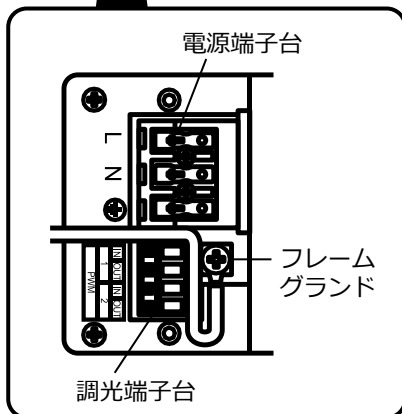
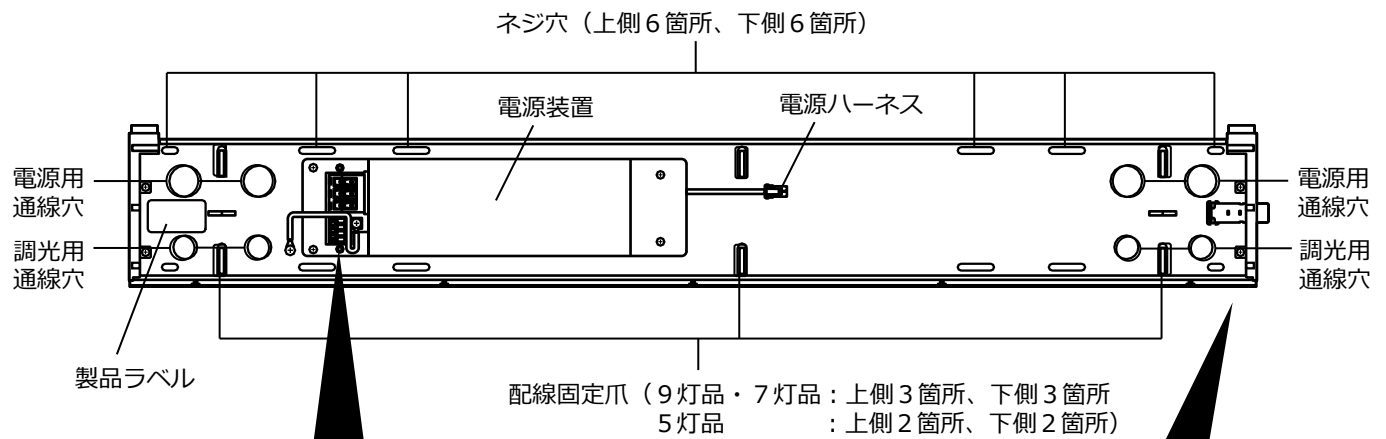
各部の名称

本製品は3つのユニットで構成されています。

●本章では9灯品の図で説明しています。



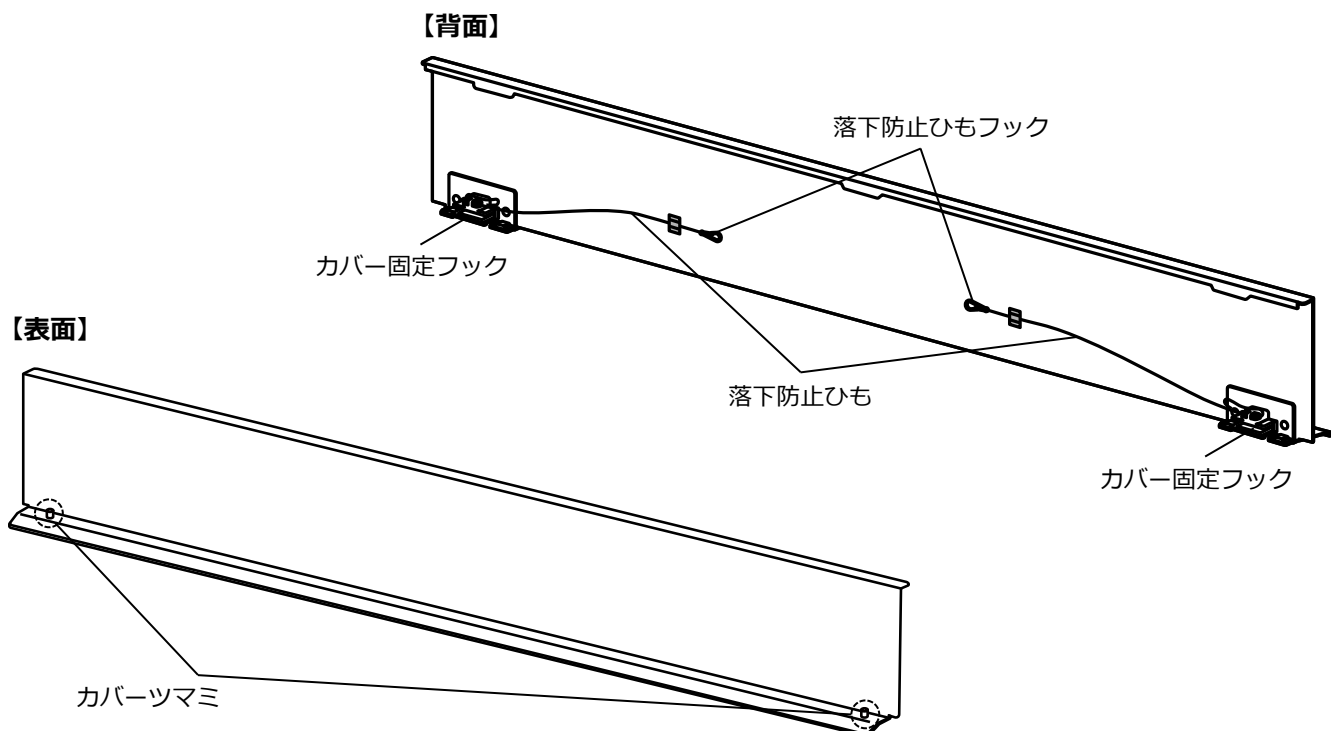
本体ユニット



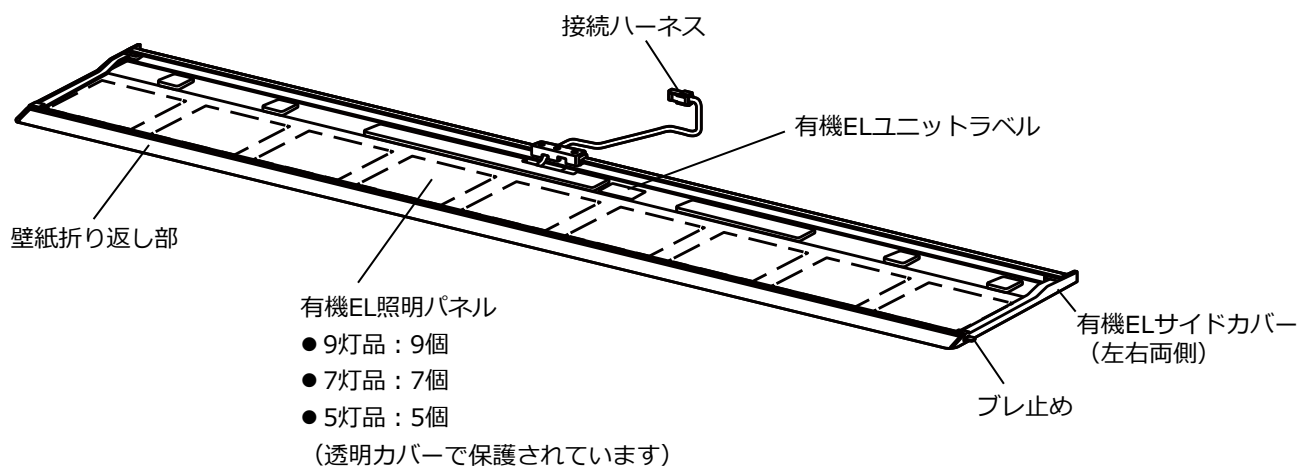
※印の部位は本体ユニットの左右両側にあります。

各部の名称 (つづき)

本体カバーユニット



有機ELユニット



本製品の取り付け施工は以下の順で行ってください。

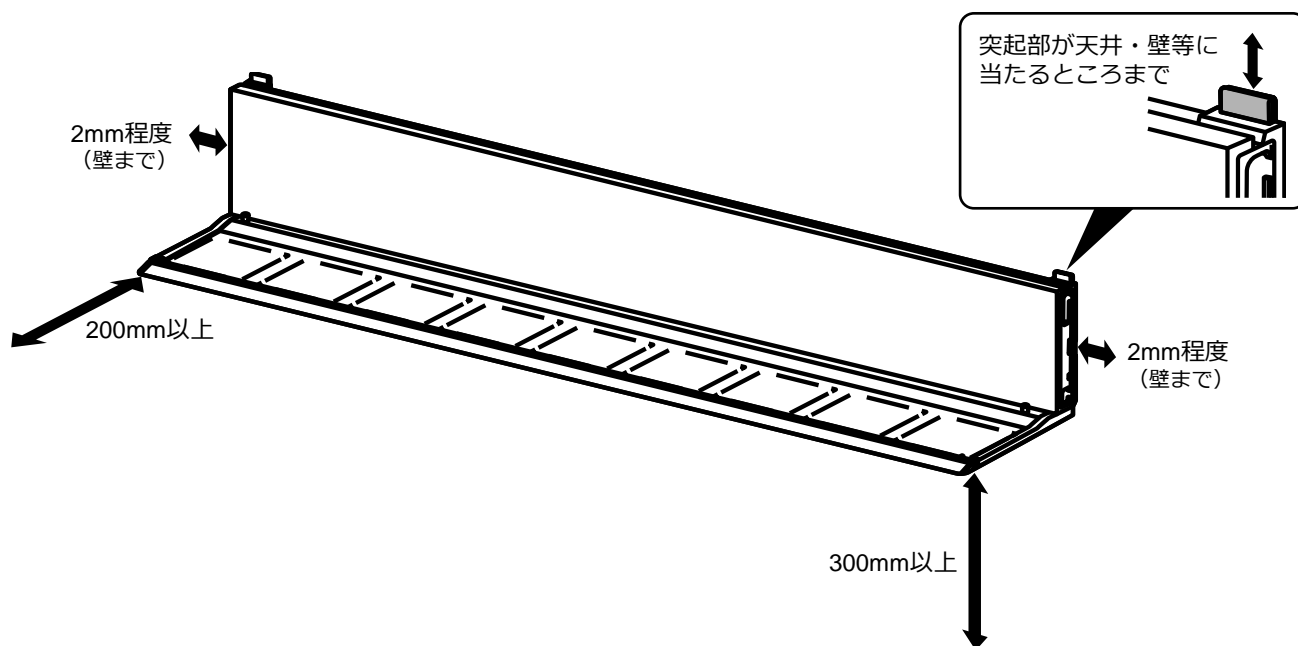


① 設置箇所の確認

設置場所について

設置する場所について、以下を確認してください。（「安全上のご注意」（P.2）も確認してください）

- 取り付ける壁や天井、棚板は、本製品重量（P.26）に十分耐えられる強度があること。
（強度がない場合は補強してください）
- 下地がありネジで固定できるか、もしくはアンカー等の補助器具により適切な処置を行えること。
- 右記の下地がある天井／壁／棚板であること。… 軽量鉄骨／木製の梁、柱／木板（厚み10mm以上）
- 取り付けの際は、本製品の周囲に下記のスぺースを設けること。
 - 両 端：2mm程度（壁まで）…有機ELユニット取り付け・取り外し時に必要なスぺース。
 - 上 側：0mm（本体ユニットの両端の突起部があたるまで）
 - 正面側：200mm以上 … 保守点検のために必要なスぺース。
 - 下 側：300mm以上 … 有機ELユニット取り付け・取り外し時に必要なスぺース。



注 器具を連結する場合は、隣の器具との間に隙間を空けないでください。

設置幅と組み合わせについて

設置する場所の幅に応じて、複数台を組み合わせることで設置幅を調整します。
設置場所の幅と、器具を組み合わせた時の器具総幅の違いにより、壁と器具の隙間が変わります。*

※壁と器具の隙間を埋めるためには、端部材品（特別注文品）が必要です。
端部材品を使用した施工方法の説明は端部材品に同梱されている資料をご参照ください。

注 器具を3台以上連結する場合は、両端以外の連結製品には必ず9灯品を設置してください。
（7灯品、5灯品を中間に設置すると、柱や梁、壁や天井の下地のピッチ303mmや455mmの間隔に合わせてネジ止めをすることができません）

本製品を調光する場合

電源スイッチについて

必要に応じて電源スイッチを設置してください。スイッチは必要な電流容量に応じて適切なものを選定ください。

調光器について

調光器はPWM方式 JISC 8120付属書E.3パルス幅変調（PWM）による制御に準拠したものが使用できます。

【推奨品】（弊社にて動作確認済み）

- Panasonic社製NQ20355/NQ20356
- Panasonic社製NQ21505/NQ21502
- Panasonic社製NQ28841K/NQ28861K

施工・使用に関する注意事項につきましては、調光器の取扱説明書および施工要領書に従ってください。

■ NQ20355/NQ20356を使用する場合

調光器を常時、通電状態になるように配線をしてください。

- 常時通電状態になるように配線をしていないと、調光器の電源スイッチで照明のON/OFFを操作する場合、有機EL照明パネルが一瞬明るく点灯したり、ちらつくことがあります。
※常時通電状態でも、調光を暗く設定し電源スイッチをOFFにした場合は、残留電荷により有機EL照明パネルが数秒間点灯状態になることがあります。

■ NQ21505/NQ21502を使用する場合

調光器の取扱説明書に従って配線および切り替えスイッチの設定をしてください。

■ NQ28841K/NQ28861Kを使用する場合

調光器の取扱説明書に従って配線および切り替えスイッチの設定をしてください。

配線について

【調光配線】

調光器の調光出力端子にΦ0.9mmもしくはΦ1.2mm 1P CPEV線遮蔽付き電線を接続し、本製品の接続予定場所付近まで配線します。

配線は内線規程に従い、固定などの処理を行ってください。

【電源配線】

屋内配線のAC100V配電盤のブレーカーに接続された電源ケーブル（Φ1.6mmもしくはΦ2.0mm 3芯VVFケーブル）に電源スイッチ（設置する場合）を接続し、電源スイッチの出力を本製品の接続予定場所付近まで配線します。

配線は内線規程に従い、固定などの処理を行ってください。

最大接続台数

本製品は電源および調光配線の端子台を用いて、連結する本体ユニットに送り配線ができます。

接続できる最大連結台数は、以下の2つの要因により決まります。

- **調光器の最大連結台数：**
調光器の施工要領書、取扱説明書をご参照ください。
- **ブレーカーの容量とケーブル種類、ケーブル長や設置される環境：**
「製品仕様」（P.26）の最大消費電力、最大消費電流をご参照ください。

② 調光器・電源スイッチの設置と配線の引き回し（つづき）

本製品を調光しない場合

電源スイッチについて

必要に応じて電源スイッチを設置してください。スイッチは必要な電流容量に応じて適切なものを選定ください。

配線について

【調光配線】

調光器の設置、調光配線ともに不要です。調光器および調光配線は施工しないでください。

【電源配線】

屋内配線のAC100V配電盤のブレーカーに接続された電源ケーブル（Φ1.6mmもしくはΦ2.0mm 3芯VVFケーブル）に電源スイッチ（設置する場合）を接続し、電源スイッチの出力を本製品の接続予定場所付近まで配線します。配線は内線規程に従い、固定などの処理を行ってください。

最大連結台数

本製品は電源の端子台を用いて、連結する本体ユニットに送り配線ができます。接続できる最大連結台数は、以下の要因により決まります。

- **ブレーカーの容量とケーブル種類、ケーブル長や設置される環境：**
「製品仕様」（P.26）の最大消費電力、最大消費電流をご参照ください。

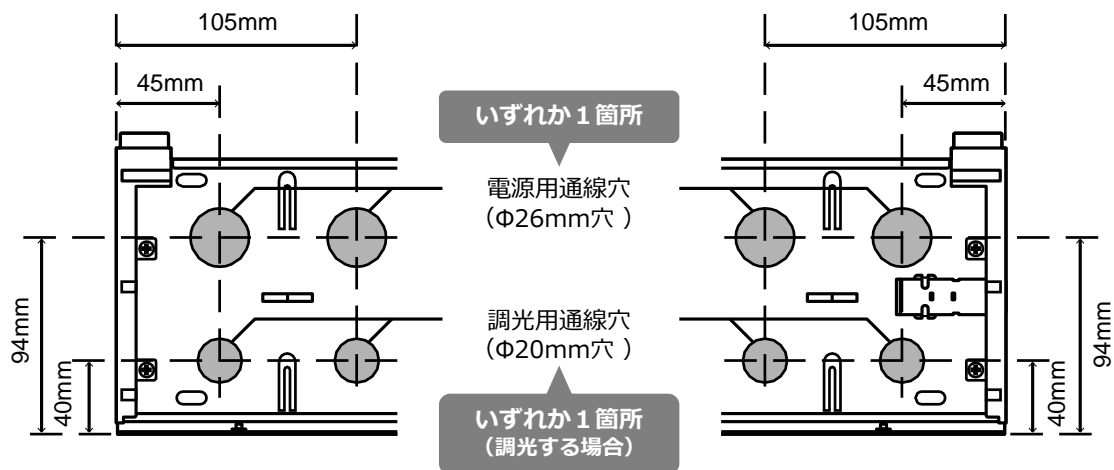
③ 配線穴の加工

あらかじめ、本体ユニットを取り付ける位置を確認し（P.8）、本体ユニットの電源用通線穴および調光用通線穴（位置は下図を参照）と重なるように、取り付け面（壁または天井、棚板）に配線穴を開けます。

- 本体ユニットの左右にある電源用通線穴および調光用通線穴それぞれについていずれか一か所を選び、配線穴を開けます。
- 調光をしない場合は、調光用通線穴用の配線穴を取り付け面に開ける必要はありません。

■ 本製品を複数台連結して設置する場合

一番端（右端または左端）のユニットの電源用通線穴および調光用通線穴（調光する場合）を使用してください。



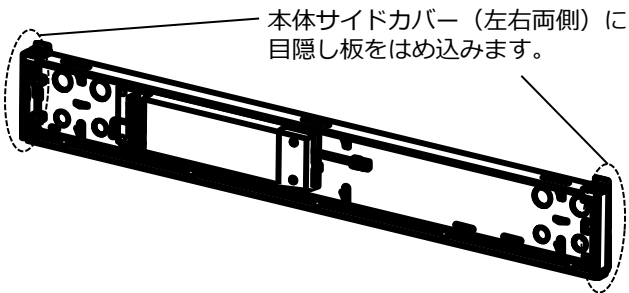
④ 目隠し板のはめ込み

虫や埃などの侵入による感電や故障を防止するため、本体サイドカバー（壁側）に必ず目隠し板をはめ込んでください。

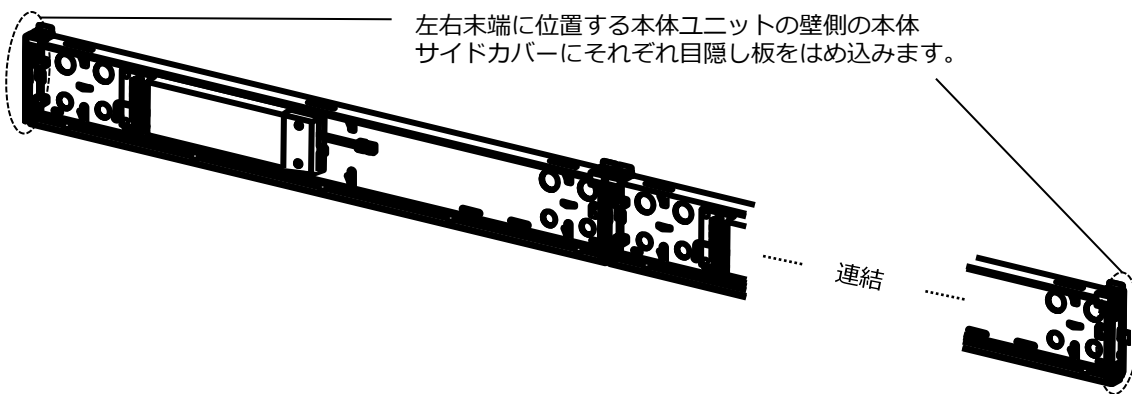
注

- 本体ユニットを壁や天井に取り付けた後に目隠し板をはめ込むことはできません。取り付け前に、必ず目隠し板を本体ユニットにはめ込んでください。
- 連結側の本体サイドカバーに目隠し板をはめ込むと、本体サイドカバーの電源配線穴と調光配線穴がふさがりため、電源配線と調光配線を連結製品に配線することができなくなります。

■ 本製品を単独で設置する場合

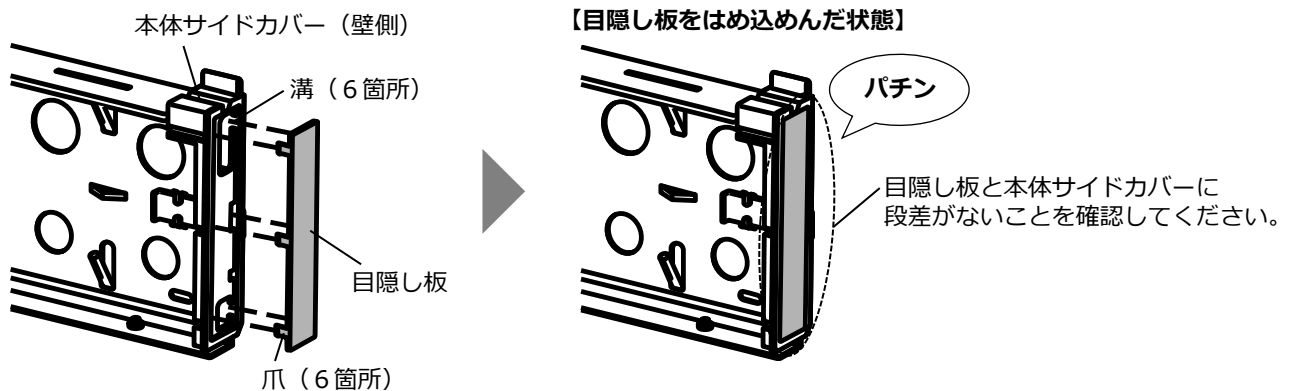


■ 本製品を複数台連結して設置する場合



目隠し板のはめ込み方法

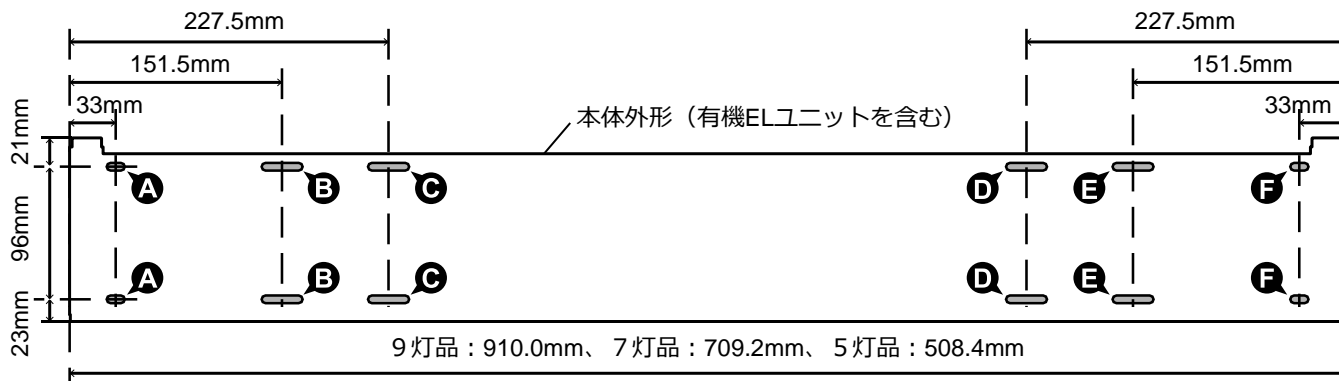
目隠し板の爪（6箇所）を本体サイドカバーの溝（6箇所）に合わせて、「パチン」と音がするまで押し込みます。



⑤ 本体ユニットの取り付け

本体ユニットは本体固定用ネジ（市販品）4本以上で壁、天井、棚板などに取り付けます。
柱、梁、壁下地、天井下地、木板にネジ止め固定します。

- 本体ユニットには下図のようにA、B、C、D、E、Fの位置に上下2箇所ずつネジ穴があります。
- ネジ穴は横長の長円となっています。ネジ位置は長円の範囲内で左右にずらして取り付けすることができます。
- 必要に応じて4本以上ネジ止めできますが、4本については必ず下記の位置にネジ止めしてください。



■ 本製品を単独で設置する場合

柱、梁、壁下地、天井下地、木板などのピッチに合わせて、以下3つのいずれかでネジ止めをしてください。

① AとF

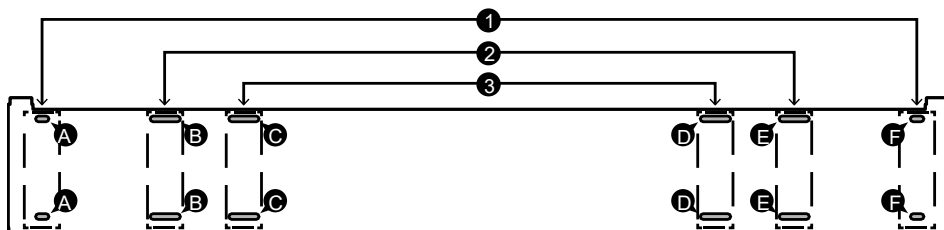
- (ネジ間ピッチ… 9灯品：844mm、7灯品：643mm、5灯品：442mm)

② BとE

- (ネジ間ピッチ… 9灯品：607mm、7灯品：406mm)

③ CとD

- (ネジ間ピッチ… 9灯品：455mm)



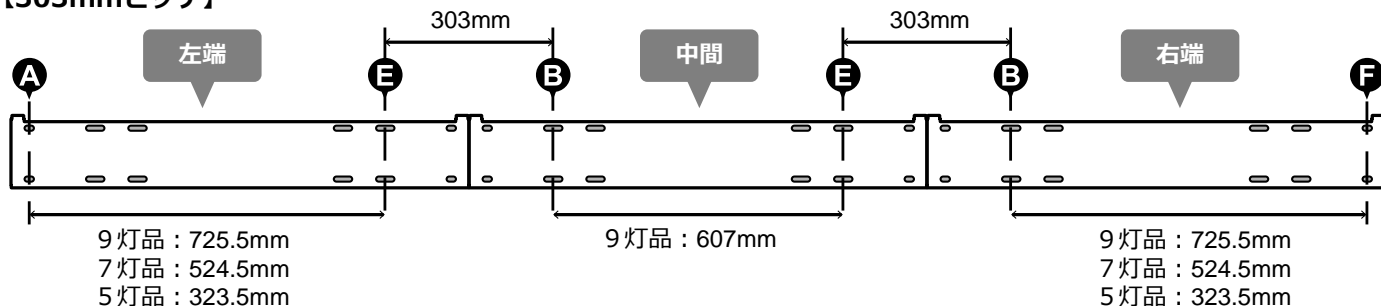
■ 本製品を複数台連結して設置する場合

- 下図に示す場所にネジ止めをしてください。
- 中間に使用できるのは9灯品だけです。
- 7灯品、5灯品を中間に設置すると、柱や梁、壁や天井の下地のピッチ303mmや455mmの間隔に合わせてネジ止めすることができません。

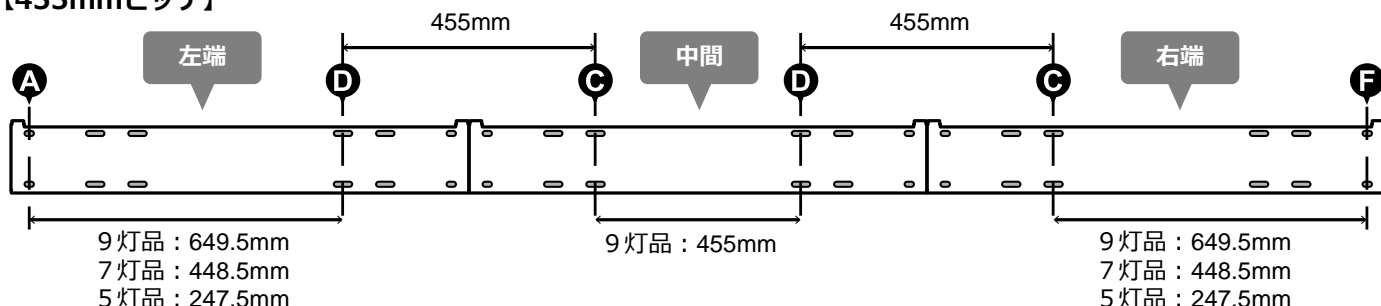


複数台を連結させて設置する場合は、連結板で位置を合わせてからネジ止めをしてください。
(連結板の位置合わせ方法はP.14をご参照ください)

【303mmピッチ】



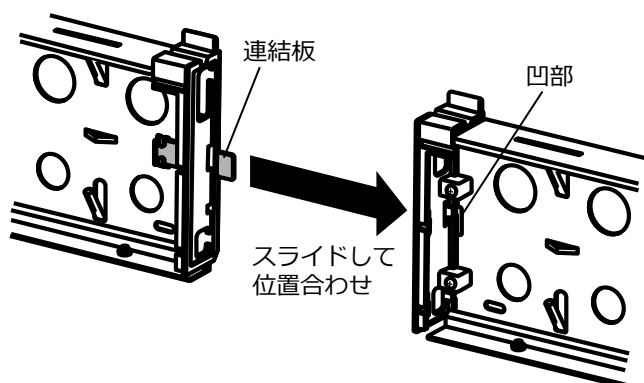
【455mmピッチ】



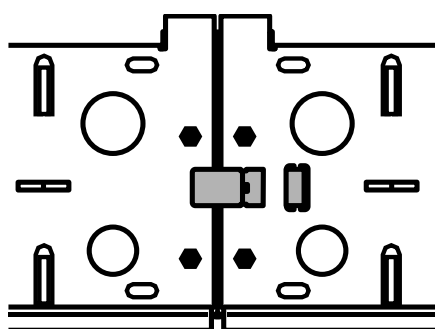
連結板の位置合わせ方法

本体ユニットを連結する場合、有機ELユニットの連結位置での段差を発生させないために、本体ユニットの連結部で位置を正確に合わせる必要があります。

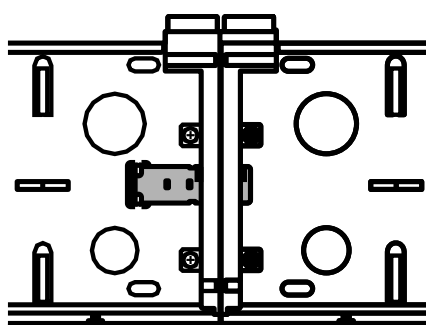
- 連結板を矢印方向にスライドして止まるまで突き出し、連結される側の本体ユニットの凹部に連結板が歪みなく合わさるように差し込みます。
- 連結をしない場合には連結板を突き出さないでください。



【連結板を差し込んだ状態】



(本体ユニット背面)



(本体ユニット正面)

本体ユニットの屋内配線用の通線穴は電源、調光それぞれ左右2箇所あります。柱、梁、壁下地、天井下地、木板などが妨げにならない方からそれぞれ1つを選んで使用してください。



- 本体ユニットをすべて取り付けてから配線をしてください。
- 電源ケーブルは電源用通線穴、調光ケーブルは調光用通線穴に必ず通してください。
- 電源ケーブルと調光ケーブルを交差したり束ねるなど、接触しないようにしてください。
- ケーブルの長さについて
ケーブルの長さは、電源端子台に余裕をもって届く適切な長さに切って使用してください。ただし、長すぎると、本体カバーユニットの取り付けができない場合があります。



警告



電源の配線は電気工事士の有資格者が必ず実施してください。

取り付けに不備があると火災、感電のおそれがあります。



電源ケーブルを電源端子台に接続するときは、電源装置の極性表示をよく確認し、正しく接続してください。

火災、感電、やけど、けがの原因になります。



●通線穴にケーブルを通す際は、壁または天井と本体ユニットの間にケーブルを挟まないようにしてください。

●ケーブルは無理に引っ張らないでください。

ケーブルに負荷がかかると断線し、ショートによる火災のおそれがあります。



ケーブルを電源端子台に接続するときは、被覆を剥いた部分が隠れるように端子挿入口の奥まで差し込んでください。

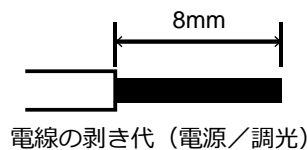
被覆を剥いた部分が端子の外に出ていると他のケーブルと接触し、火事、感電、やけど、けがの原因になります。

電源ケーブルと調光ケーブルはそれぞれ電源端子台、調光端子台に接続します。

■ケーブルを端子台に接続するとき

電源ケーブル、調光ケーブル共に、被膜を8mm剥き、被覆を剥いた部分が隠れるように端子挿入口の奥まで差し込んでください。

- 被覆を剥いた部分が端子挿入口から外に見える場合は、一旦ケーブルを端子台から抜き、差し直してください。
- 電源装置の極性表示を元に正しく接続してください。
- 調光端子の極性はありません。



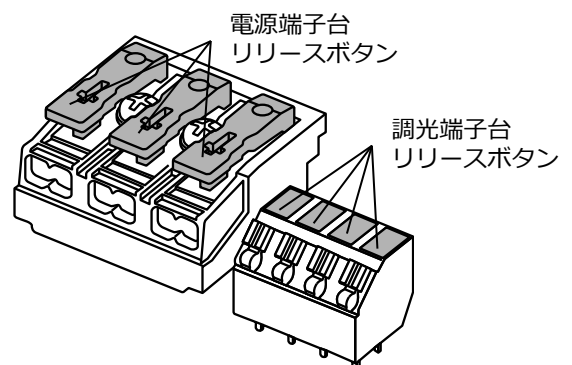
■ケーブルを端子台から抜くとき

電源端子台および調光端子台上部のリリースボタンを押しながら抜いてください。

- リリースボタンを押さずに無理に引っ張って抜かないでください。

■ケーブル接続後の確認

各ケーブルが確実に挿入されていて、各端子台から抜けないことを確認してください。



⑥電源／調光の配線 (つづき)

■本製品を単独で設置する場合

①電源ケーブル (P.9,10) を本体ユニット背面から電源用通線穴に通し、電源端子台の入力端子に接続します。

② (調光する場合) 調光ケーブル (P.9) を本体ユニット背面から調光用通線穴に通し、調光端子台の入力端子に接続します。

●送り配線用の端子は使用しません。

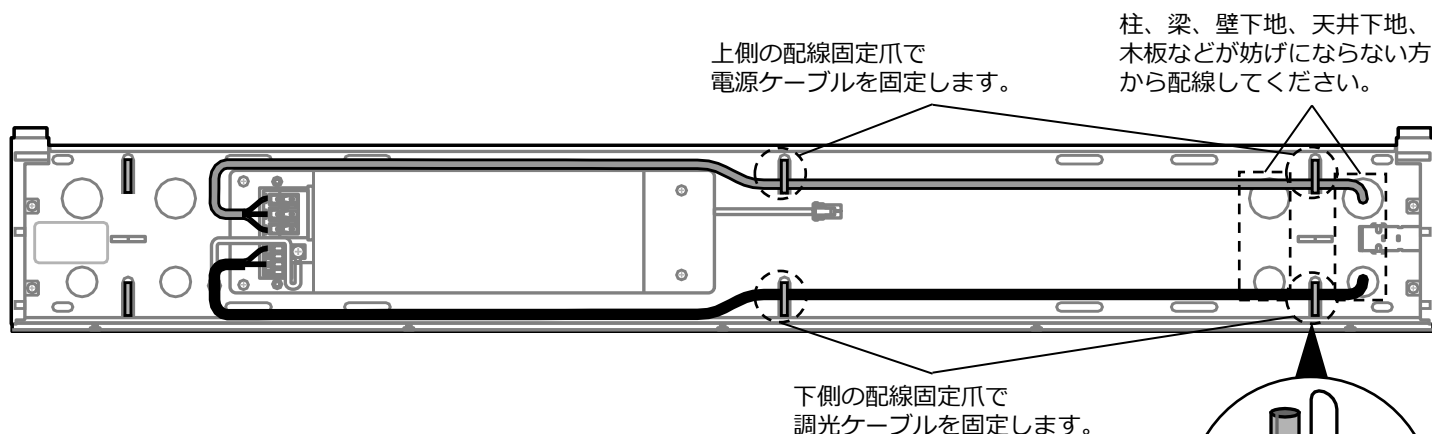
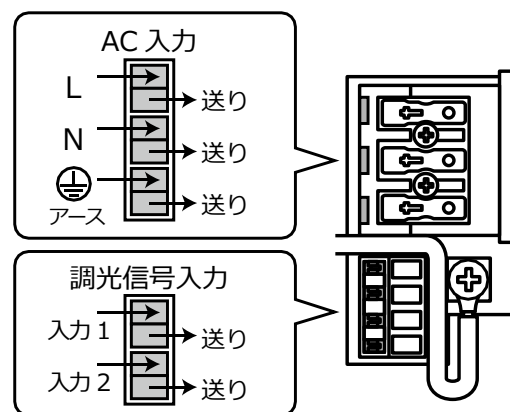
【本体ユニット右側の通線穴から配線する場合】 (図は9灯品の例)

本体ユニット右側の通線穴から配線する場合は、電源ケーブルを本体ユニット上側の配線固定爪に、調光ケーブルを本体ユニット下側の配線固定爪に引っ掛けてください。

(緩まないよう、配線固定爪でケーブルを押さえて固定してください)

●配線固定爪は9灯品、7灯品、5灯品で位置や数が異なります。

【配線図】



警告

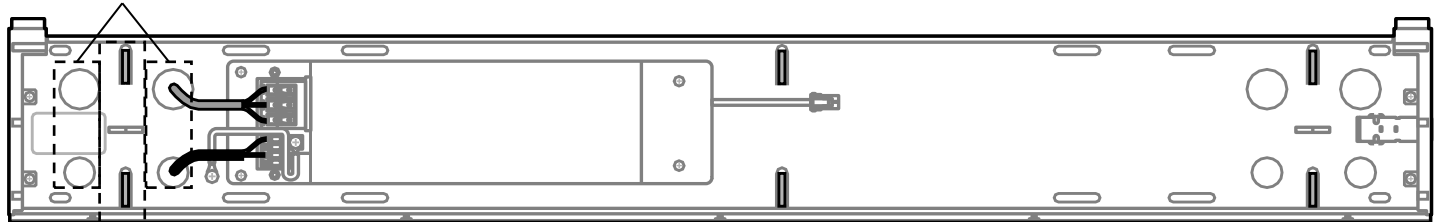
配線固定爪の先端をケーブルに強く押しあてないでください。
ケーブルが傷つき、火災、感電などの原因になります。



【本体ユニット左側の通線穴から配線する場合】

本体ユニット左側の通線穴から配線する場合は、配線固定爪は使用しません。

柱、梁、壁下地、天井下地、木板などが妨げにならない方から配線してください。



⑥ 電源／調光の配線 (つづき)

■ 複数台連結して設置する場合

電源ケーブルと調光ケーブルを、連結した本体ユニット内部へ送り配線で接続します。その際、電源ケーブルと調光ケーブルが交差したり接触しないよう、必ず配線固定爪で固定してください。

● 配線固定爪は9灯品、7灯品、5灯品で位置や数が異なります。

① 電源ケーブル (P.10) を右端または左端の本体ユニットの背面から電源用通線穴に通し、電源端子台の入力端子に接続します。

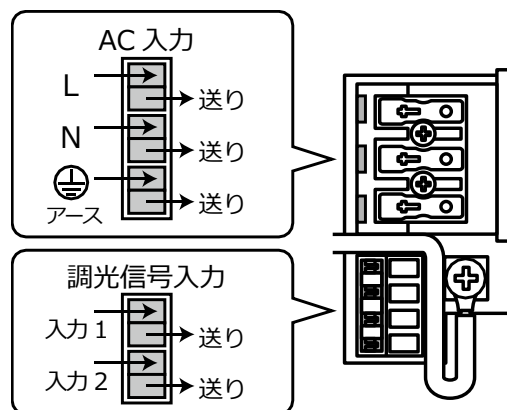
② 手順①の電源端子台の送り端子に電源ケーブル (Φ1.6mmもしくはΦ2.0mm 3芯VVFケーブル) を接続し、連結した本体ユニットへ送り配線します。

----- 本製品を調光する場合は、続けて以下の手順に従って配線してください -----

③ 調光ケーブル (P.9) を本体ユニット背面から調光用通線穴に通し、調光端子台の入力端子に接続します。

④ 手順③の調光端子台の送り端子に調光ケーブル (Φ0.9mmもしくはΦ1.2mm 1P CPEV線遮蔽付き) を接続し、連結した本体ユニットへ送り配線します。

【配線図】



注 送り配線をする際、電源ケーブルは電源用配線穴を、調光ケーブルは調光用配線穴を必ず通し、電源ケーブルと調光ケーブルが重ならないようにしてください。

【左端の本体ユニットに屋内配線を接続した例】 (図は9灯品の例)

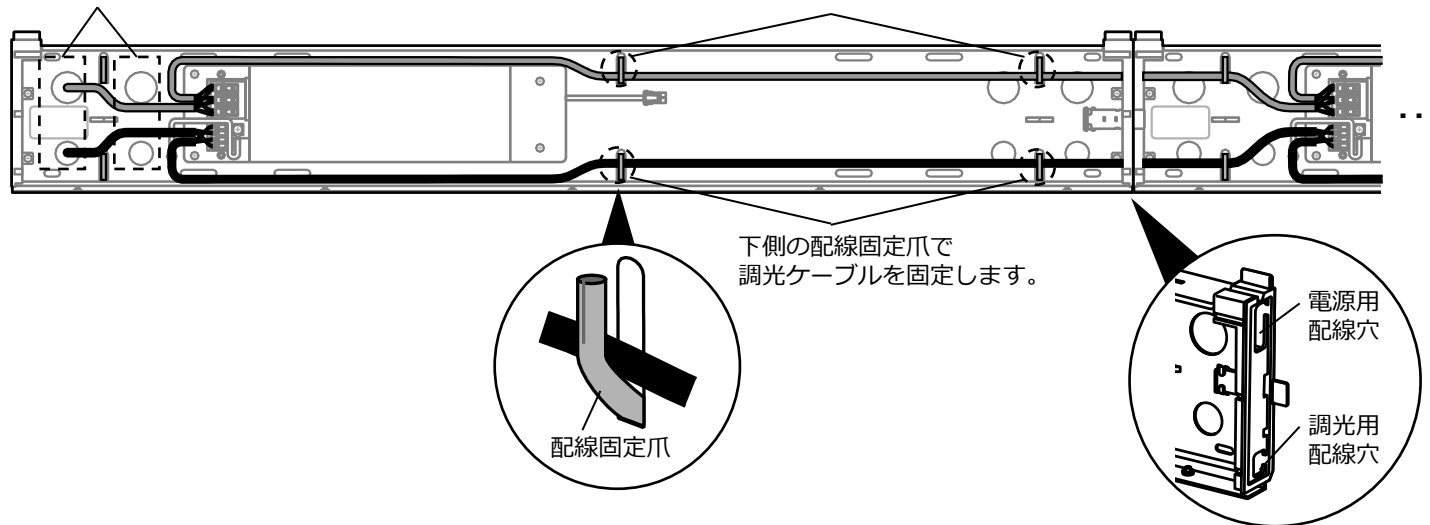
⚠ 注意

左端の本体ユニットから屋内配線を接続する場合は、本体ユニット左側の電源用通線穴、調光用通線穴を通してください。

本体ユニット右側の通線穴から屋内配線を通すと、配線固定爪で適切にケーブルを止めることができず、故障、誤動作の原因になります。

柱、梁、壁下地、天井下地、木板などが妨げにならない方から配線してください。

上側の配線固定爪で電源ケーブルを固定します。



下側の配線固定爪で調光ケーブルを固定します。



⚠ 警告

配線固定爪の先端をケーブルに強く押しあてないでください。ケーブルが傷つき、火災、感電などの原因になります。

⑦有機ELユニットの取り付け

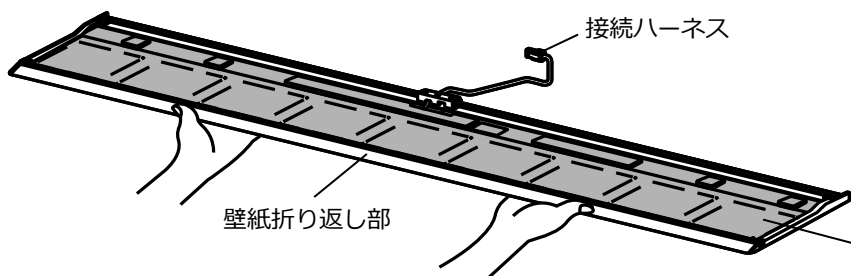
下記の手順に従って有機ELユニットを本体ユニットに取り付けてください。（図は9灯品の例）

⚠ 注意

- 
有機ELユニットの透明カバーを押さえたり、有機ELユニットをねじったりしないでください。
 故障の原因になります。
- 
有機ELユニットを本体ユニットに取り付けた後に、有機ELユニットを引っ張ったり、体重をかけたり、有機ELユニットの上に物を置いたりしないでください。
 故障の原因や、有機ELユニットが外れてけがの原因となります。

①本体ユニットに対して有機ELユニットを垂直に持ちます。

- 有機ELユニットの壁紙折り返し部に親指を掛け、有機ELユニット底面を持ってください。
- 有機ELユニット表面（有機EL照明パネルが見える面）が本体ユニット側を向くようにし、接続ハーネスを奥側（本体ユニット側）の向きにします。

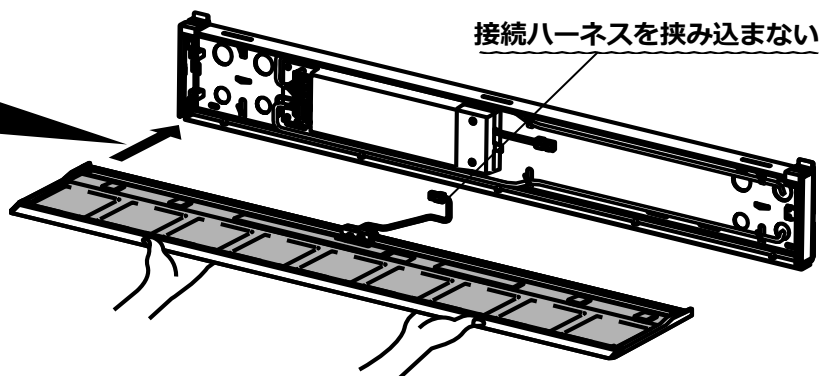
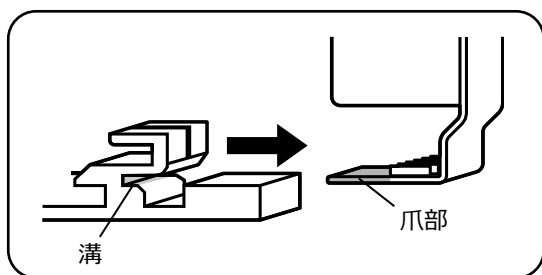


注 有機ELユニットを取り付ける際、透明カバーを押さえたり、有機ELユニットをねじったりしないでください。
故障の原因になります。

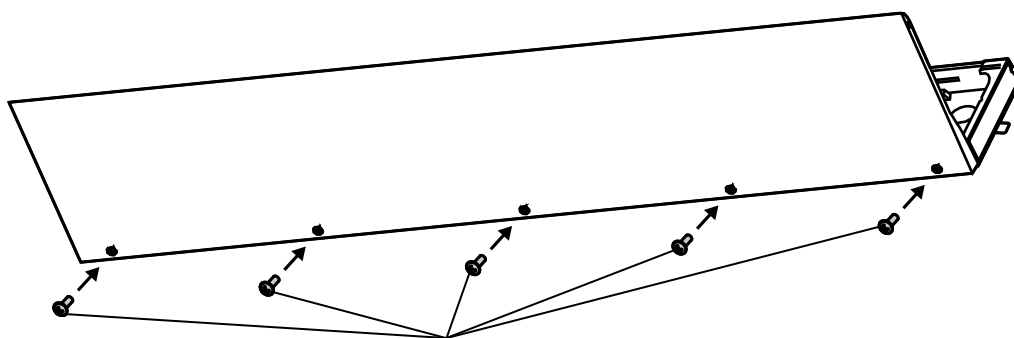
透明カバー  を持たない

②本体ユニットの下側爪部に有機ELユニットの溝を差し込みます。

接続ハーネスを本体ユニットに挟み込まないように注意してください。



③有機ELユニットの底面（有機EL照明パネルが見えない面）側から付属の有機ELユニット固定ネジで本体ユニットにネジ止めします。（9灯品…5箇所、7灯品…4箇所、5灯品…3箇所）



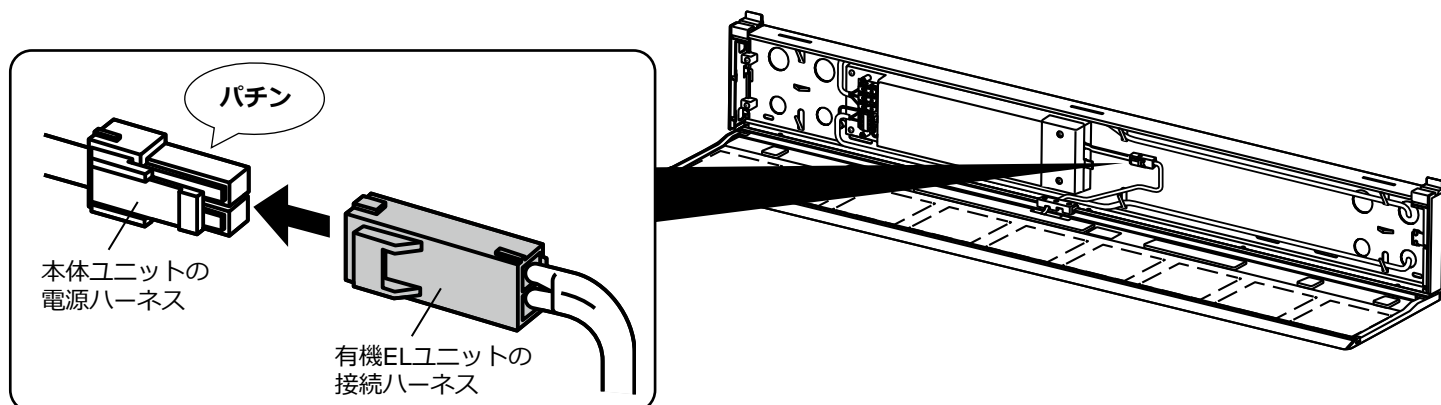
有機ELユニット固定ネジ（付属品）

④ネジ止め後、有機ELユニットを軽く動かして、本体ユニットにしっかり固定されているか確認します。

⑦有機ELユニットの取り付け (つづき)

⑥本体ユニットの電源ハーネスに有機ELユニットの接続ハーネスを接続します。

ハーネスは、「パチン」と音がするまで差し込んでください。

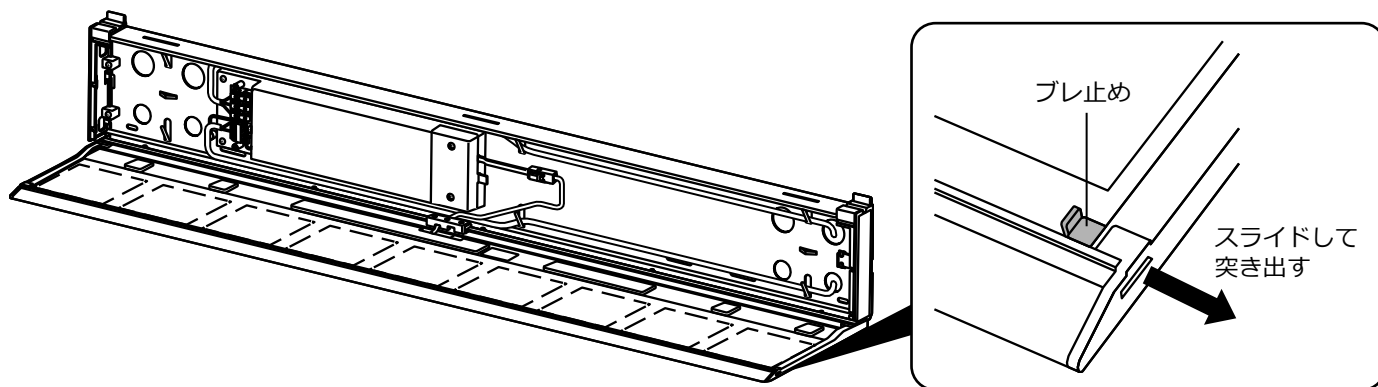


⑧連結時のブレ止め

本製品を複数台連結する場合、取り付け後にブレ止めにより2台の隣接する有機ELユニットを固定します。

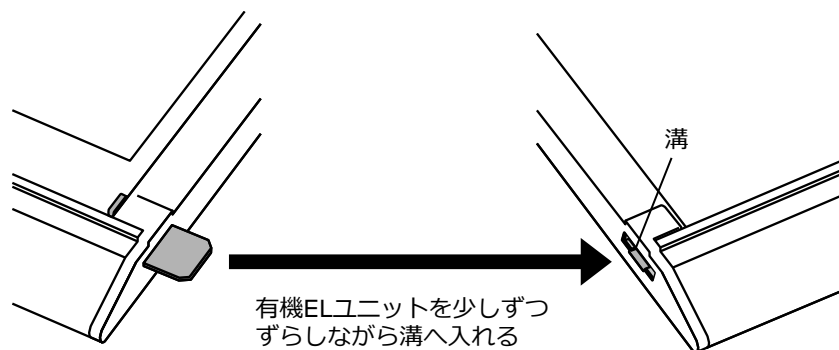
●ブレ止めを使用することによって、有機ELユニットの先端部分の連結ズレを防止します。

①ブレ止めを矢印方向にスライドして突き出します。



②ブレ止めを連結する有機ELユニットの側面の溝に差し込みます。

●ブレ止めが溝に入るように、両方の有機ELユニットを少しずつずらして調整してください。



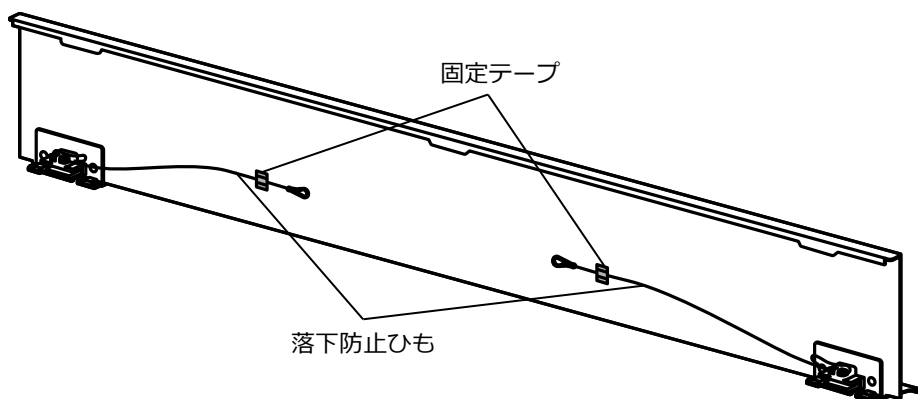
落下防止ひもの取り付け方法

本体カバーユニットの落下を防ぐため、下記の手順に従って本体カバーユニットの落下防止ひもを本体ユニットに取り付けてください。

⚠ 注意

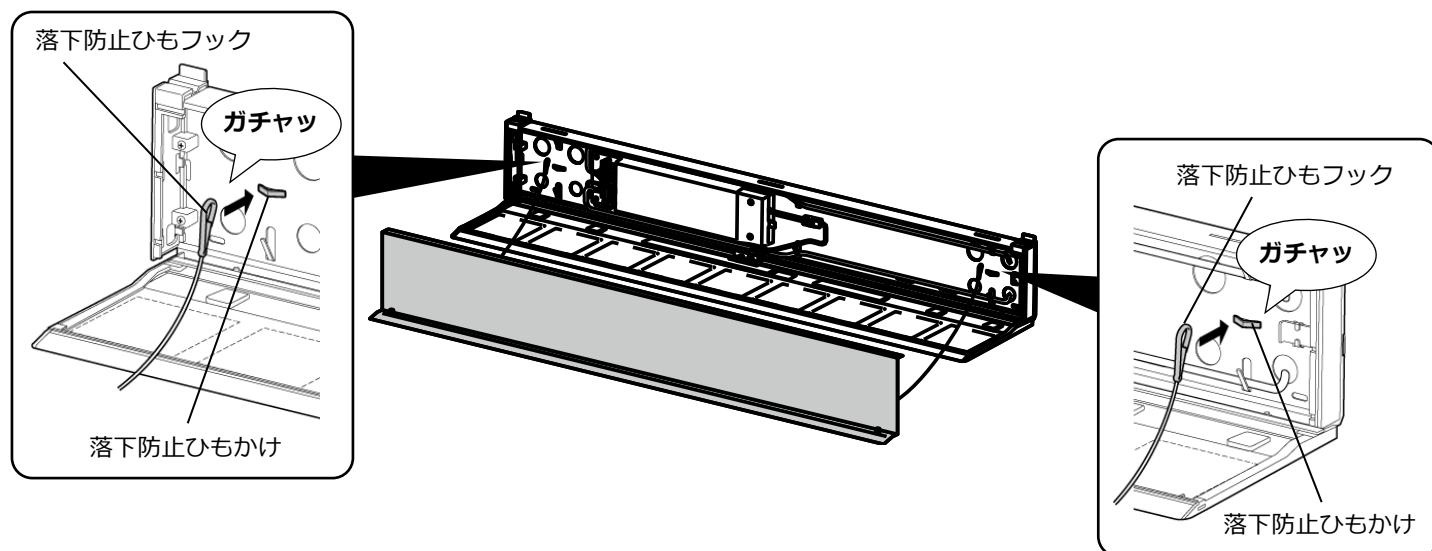
- ⊘ 落下防止ひもを取り付ける際、本体カバーユニットを有機ELユニットの上に置かないでください。また、有機ELユニットに体重をかけたり、物を置いたりしないでください。故障の原因や、有機ELユニットが落下して思わぬけがの原因となります。

❶ 本体カバーユニット背面の落下防止ひもの固定テープ2箇所を取り外します。



❷ 本体カバーユニットの背面（落下防止ひもがある面）を、本体ユニット側に向けて持ちます。

❸ 本体カバーユニットの落下防止ひもフック（左右2箇所）を本体ユニットの落下防止ひもかけ（左右2箇所）に、それぞれ引っ掛けます。



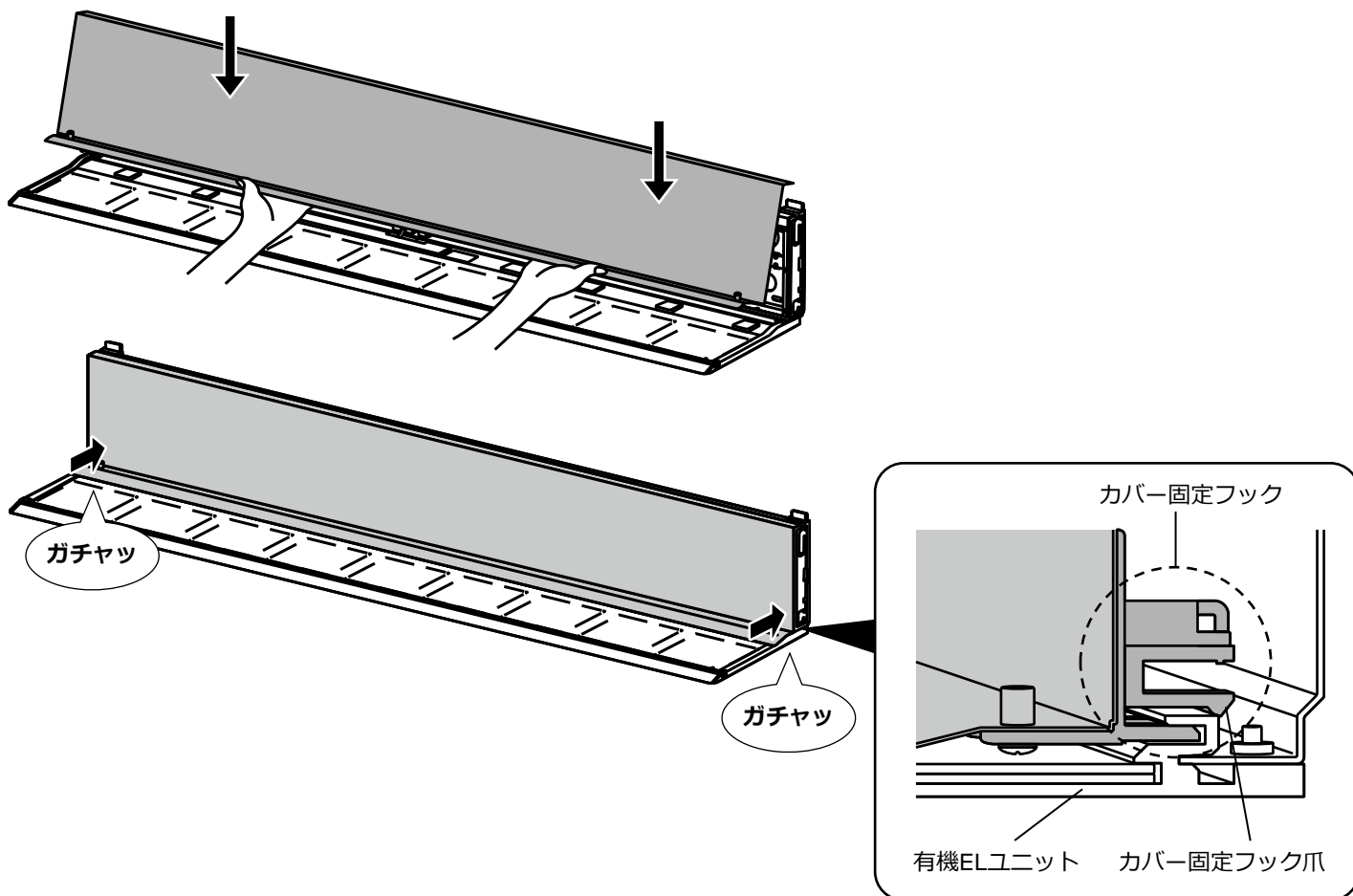
❹ 左右の落下防止ひもを軽く引っ張り、本体カバーユニットが本体ユニットから外れないか確認します。

本体カバーユニットの取り付け方法

落下防止ひもを取り付け後、下記の手順に従って本体カバーユニットを本体ユニットに取り付けます。

① 本体カバーユニットを本体ユニットに上側からかぶせ、本体カバーユニットのカバー固定フック爪が有機ELユニットにはまるように「ガチャツ」と音がするまで押し込みます。

● 本体カバーユニットの落下防止ひもがはさみ込まれないよう、本体ユニット内に収めてください。



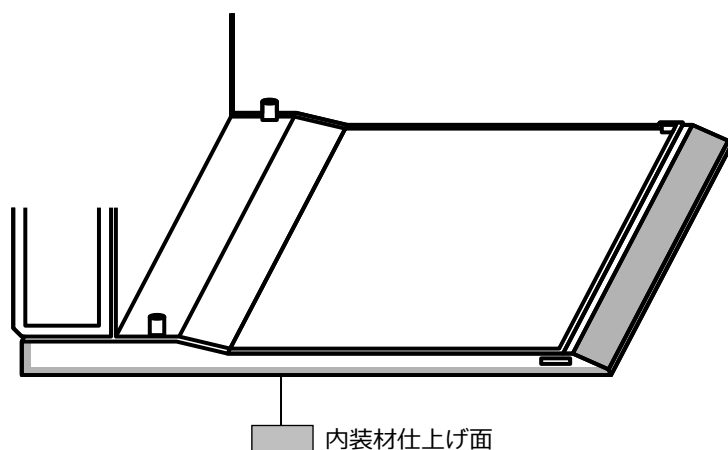
② 本体カバーユニットのカバーツマミを動かしてガタツキの有無、隙間の有無を確認してください。

● ガタツキや隙間があるときは、本体カバーユニットを取り外して取り付け直してください。
(本体カバーの取り外し方法はP.23をご参照ください)

取り付けが完了したら、電源を入れ、「②調光器・電源スイッチの設置と配線の引き回し」(P.9~10)で配線した調光器やスイッチで動作の確認をしてください。

- 設置したすべての製品が正常に点灯し、異音や発煙、発火などが発生していないか確認します。
- 異常が発見されたら直ちに主電源を切り、異常個所の確認、修正を行ってください。

本製品の内装材仕上げ面に壁紙や塗装を施すことができます。必要に応じて、内装材での仕上げをしてください。



- 内装材仕上げ面はアルマイト処理を施しています。内装材での仕上げを行う前にプライマー処理をしてください。
- 有機ELユニット固定ネジ部分は、必要に応じて化粧仕上げをしてください。その際、ネジ山を埋めないようにしてください。

内装材で仕上げる際は、次の内容を必ず守ってください。

- 必ず主電源を切ってから実施する。
- 有機ELユニットを本体ユニットに取り付けてから実施する。
- 内装材仕上げ面には、プライマー処理以外の表面処理はしない。
- プライマー処理は内装材仕上げ面以外の場所に実施しない。
- 焼付塗装などの温度処理はしない。自然乾燥の塗料を使用する。
- 壁紙の貼り付け面や塗装をする面以外には適切に養生を行い、ノリや塗料が付着しないようにする。
- 内装材で仕上げをする際、有機ELユニットを押したり、引っ張ったり、叩いたりするなどの負荷をかけない。
- 汚れた場合は乾いた柔らかい布でふき取る。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませてよく絞ったやわらかい布で汚れた部分を軽くふき取り、柔らかい乾いた布で仕上げる。有機溶剤やアルカリ性、酸性、塩素系の洗剤や磨き粉やたわしを使用しない。
- 仕上げ終了後、主電源を入れる際には、仕上げ面が乾燥していることを確認する。

修理時の取り外し方法

本製品を修理する際、必要に応じて本体カバーユニットと有機ELユニットを順に取り外してください。



警告



必ず主電源を切ってから取り外し作業を行ってください。

火災、感電や故障の原因になります。



注意



本体カバーユニットはゆっくり取り出してください。

急激に動かすと落下防止ひもが内部配線や電源装置に引っ掛かり、製品の落下や破損の原因になります。

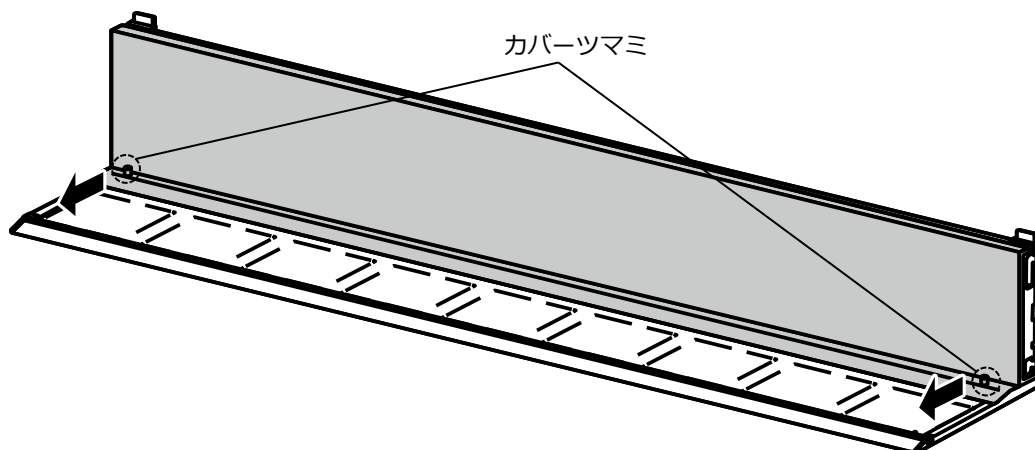
有機ELユニットを取り外す際、本製品の内装材仕上げ面と壁面をまとめて壁紙で貼り込んでいる場合は、あらかじめ内装材仕上げ面と壁面にかかる部分を切断してください。

本体カバーユニットの取り外し方法

①本体カバーユニット左右のカバーツマミを両手の指先で引っ掛け、左右同時にゆっくり矢印方向に引き

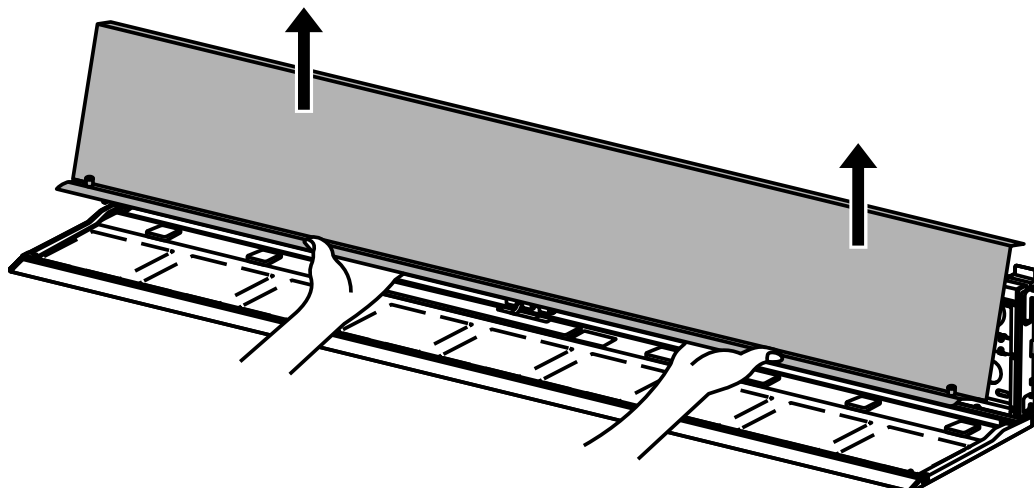
ます。
(カバー固定フック爪が外れ、本体カバーユニットが2~3cm本体ユニットから離れた状態にします)

- 片側のカバーツマミだけを引くと、本体カバーユニットの変形やカバー固定フックが破損する原因になります。



②本体カバーの下側を支えるように持ちかえて、左右同時に上に持ち上げるようにしてゆっくりと本体ユニットから外します。

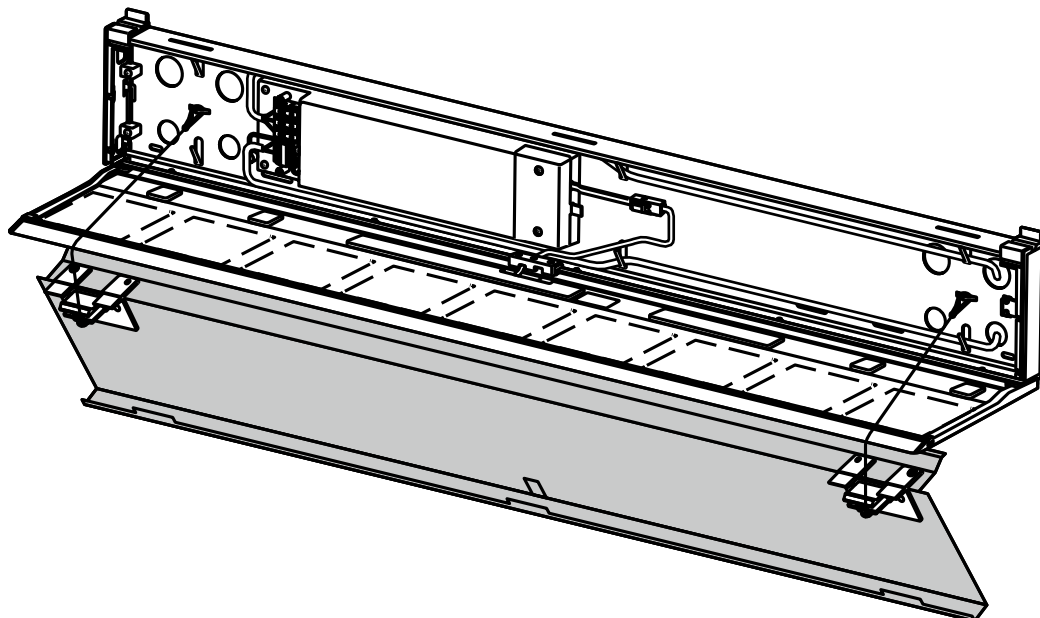
- 本体カバーユニットは、本体ユニットと落下防止ひもによってつながれているため、無理に引っ張ったり、動かしたりしないでください。



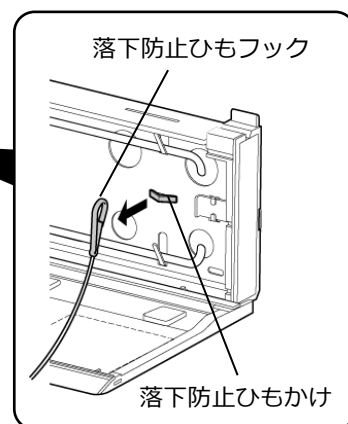
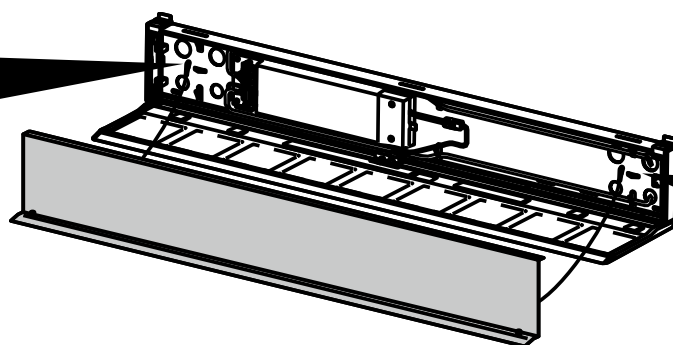
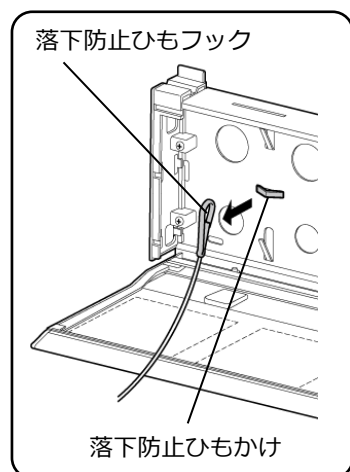
修理時の取り外し方法 (つづき)

③ 本体カバーユニットを有機ELユニット側にゆっくり引きます。

④ 落下防止ひも2本が本体ユニットに繋がっていることを確認し、有機ELユニットの前で本体カバーユニットを吊り下げた状態にします。



⑤ 本体カバーユニットの落下防止ひもフック（2箇所）を、本体ユニットの落下防止ひもかけから片側ずつ取り外します。

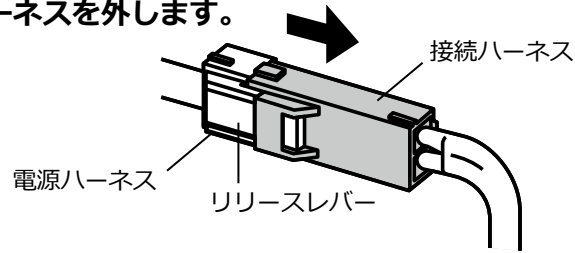


修理時の取り外し方法 (つづき)

有機ELユニットの取り外し方法

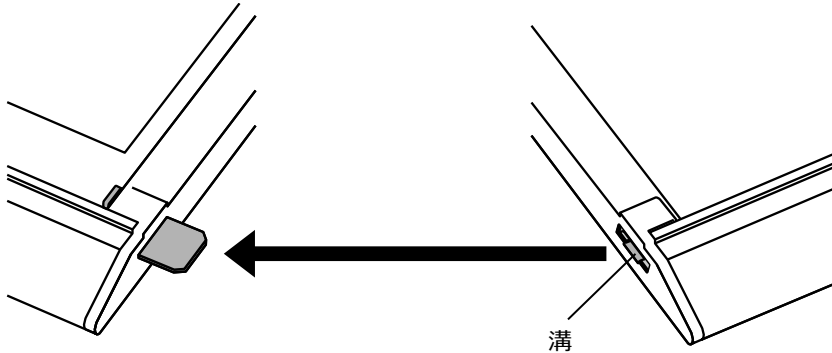
①電源ハーネスから有機ELユニットの接続ハーネスを外します。

電源ハーネスのリリースレバー部を押しながら引いて外します。



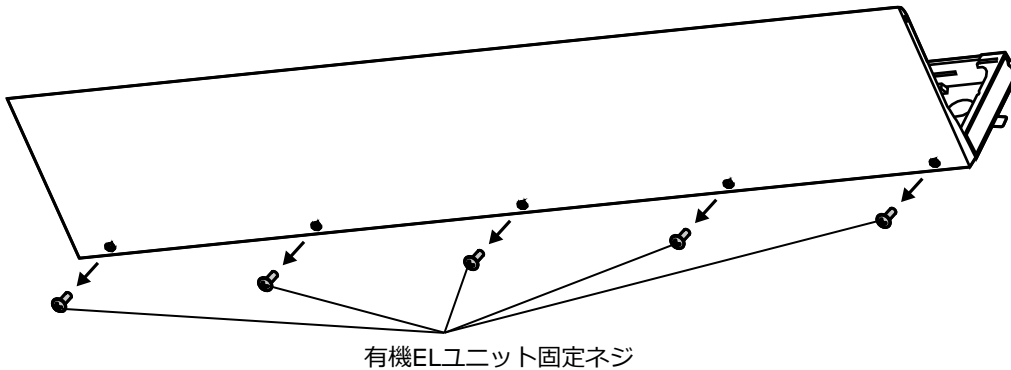
----- 本製品を複数台連結場合は、続けて以下の手順②～③に従ってください -----

②有機ELユニットのブレ止め (P.19) を矢印方向に止まるまでスライドし、連結を解除します。

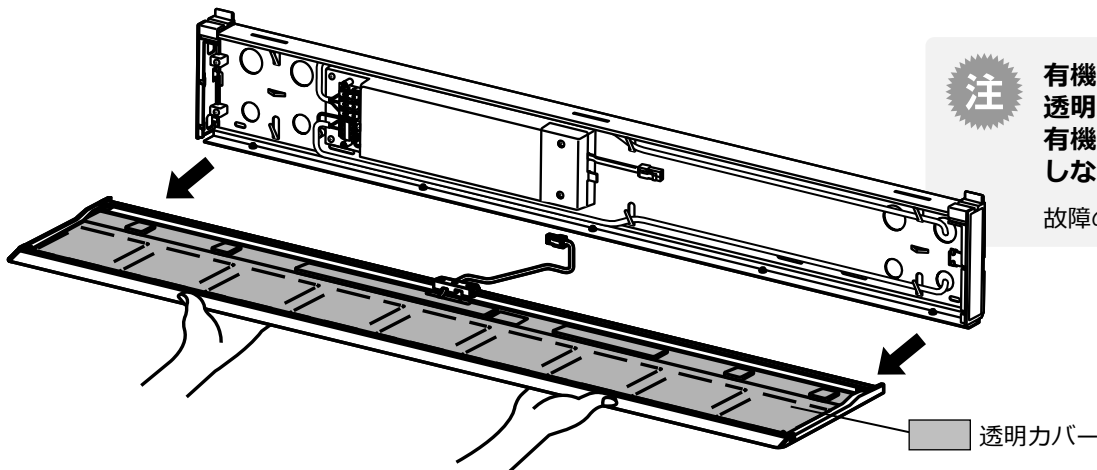


③有機ELユニットを壁紙・塗装などで処理をしている場合 (P.22)、取り外しができるように壁紙・塗装などの接続部を切断します。

④有機ELユニット底面の固定ネジを全て外します。(図は9灯品の例)



⑤有機ELユニットを矢印方向に引いて本体ユニットから取り外します。(図は9灯品の例)



注

有機ELユニットを取り外す際、透明カバーを押さえたり、有機ELユニットをねじったりしないでください。

故障の原因になります。

製品仕様

製品名	KANEKA LUCE ARCHITECTURE™ A1シリーズ					
型番	A1-9W3000N	A1-9W4000N	A1-7W3000N	A1-7W4000N	A1-5W3000N	A1-5W4000N
寸法：幅	910.0mm		709.2mm		508.4mm	
寸法：奥行	188.5mm					
寸法：高さ	140mm					
重量※1	4.1kg		3.3kg		2.9kg	
本体色	白色					
光源種別	有機EL照明パネル					
光源数	9個		7個		5個	
光源駆動電流	326mA					
全光束（初期）	562lm	693lm	437lm	539lm	312lm	385lm
相対色温度	3000K	4000K	3000K	4000K	3000K	4000K
演色性	93	91	93	91	93	91
調光機能	有り PWM方式 JISC 8120付属書E 調光型制御装置の制御インターフェース E.3パルス幅変調（PWM）による制御に準拠（PWM Duty98%以上で消灯）					
調光範囲	5～100%					
調光入力方式	速結端子式（送りつき）適合電線：Φ0.9mmもしくはΦ1.2mm 1P CPEV線遮蔽付き					
動作確認済み 調光器	Panasonic NQ20355、NQ20356					
	Panasonic NQ21505、NQ21502					
	Panasonic NQ28841K、NQ28861K					
電源入力方式	速結端子式（送りつき）適合電線：Φ1.6もしくはΦ2.0 3芯 VVFケーブル					
定格消費電力※2	25.4W	24.7W	20.3W	19.7W	15.0W	14.9W
定格入力電流※2	0.25A	0.25A	0.20A	0.20A	0.15A	0.15A
最大消費電力※3	38.0W	38.0W	38.0W	38.0W	36.2W	36.2W
最大入力電流※3	0.38A	0.38A	0.38A	0.38A	0.36A	0.36A
定格入力電圧/ 周波数	単相AC100V/50-60Hz					
動作温度範囲	5～35℃（結露無き事）					

※1 配線の重量を含みません。

※2 調光最大時、使用開始初期

※3 調光最大時、光源寿命（LT70）末期

株式会社 カネカ

OLED事業開発プロジェクト

〒107-6028 東京都港区赤坂 1-12-32 (アーク森ビル)

MAIL : oled-market@kaneka.co.jp

TEL : 03-5574-8009 / FAX : 03-5574-6161

KANEKA LUCE ARCHITECTURE™ A1シリーズ
施工要領書

Document No. OBL-4100-003/002

2021年5月 第2版

Printed in Japan

KANEKA LUCE (ロゴ) は株式会社カネカの登録商標です。ARCHITECTIREは株式会社カネカの出願中の商標です。

©Kaneka Corporation 2021 株式会社カネカの許可なく複製、改変などを行うことはできません。